

トを作成する。

- ・授業科目一覧

開講している授業科目とその内容を一覧できるように、ホームページの該当ページを随時更新する。

○受講生の研究・キャリアパス相談等のための取り組み。

- ・インターンシップ

受講生に、コンソーシアムに参画する地方自治体、国の機関や研究開発法人等のインターンシップを提供する。

- ・アドバイザーボード

プログラム担当者らからなるアドバイザーボードを用意し、各受講生の火山研究や将来について相談を受け付ける。

○特別聴講生へのセミナー提供

・国や地方自治体、民間企業等で火山防災業務等に携わる職員等に、上記の基礎・応用・発展コースの火山学セミナー等を提供する。また、地方自治体などの職員と受講生が参加する火山防災特別セミナーを鹿児島県等で行う。

(c) 受講生の募集

基礎コースおよび発展コースの令和3年度の受講生は令和2年11月に募集を行っているが、コンソーシアム参加・協力機関の大学に他大学から新たな大学院生も入学することから、令和3年3月に若干名の追加募集を行い、4月に採択する。また、令和4年度に基礎コースおよび発展コースを開始する受講生の募集を令和3年11月頃に行う。令和3年度受講生の認定式・オリエンテーションを令和3年4月頃を実施する。

## 4. 活動報告

### 4. 1 会議録

令和2年度第1回人材育成運営委員会

日時 令和2年4月1日から3日（メール会議）

- 議題
1. 追加募集
  2. 新規参画機関
  3. 委員の交代
  4. 受講生便覧修正
  5. 新型コロナウイルス感染拡大対応

令和2年度第2回人材育成運営委員会

日時 令和2年4月23日（オンライン会議）

議題 1. 受講生認定

令和2年度第3回人材育成運営委員会

日時 令和2年6月23日から25日（メール会議）

議題 1. 特別聴講生審査委員会設置

令和2年度第4回人材育成運営委員会

日時 令和2年6月30日から7月3日（メール会議）

議題 1. 特別聴講生採択

2. 新規参画大学

令和2年度第5回人材育成運営委員会

日時 令和2年9月24日（オンライン会議）

議題 1. 新規参画機関

2. 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年度第6回人材育成運営委員会

日時 令和2年10月12日から14日（メール会議）

議題 1. 令和3年度受講生募集

2. 受講生募集審査委員

3. 特別聴講生制度改訂

4. 委員の交代

令和2年度第7回人材育成運営委員会

日時 令和2年10月26日から29日（メール会議）

議題 1. 令和3年度受講生募集調査票

2. 新規参画大学承認

3. 予算案変更

令和2年度第8回人材育成運営委員会

日時 令和2年12月24日（オンライン会議）

議題 1. 令和3年度受講生審査

2. 令和3年度事業計画大枠

令和2年度第9回人材育成運営委員会

日時 令和3年1月26日から28日（メール会議）

議題 1. 令和3年度事業計画

## 2. 委員の交代

令和2年度第10回人材育成運営委員会

日時 令和3年3月1日から2日（メール会議）

- 議題
1. 特別聴講生審査委員会の設置
  2. 新型コロナ感染防止対策

令和2年度第11回人材育成運営委員会

日時 令和3年3月22日から23日（メール会議）

- 議題
1. 特別聴講生審査委員会の設置
  2. 特別聴講生審査

## 4. 2 対外的発表

令和2年12月 中高生のための研究キャリア・サイエンス冊子「someone」vol.53  
に掲載

## 5. むすび

8大学および4研究機関（研究開発法人・国の機関）で発足した本火山研究人材育成コンソーシアムは、令和3年3月31日現在、16大学、4研究機関（研究開発法人・国の機関）、9地方自治体、3学協会、4民間企業から構成されている。受講生も各大学から本プログラムに参加し、幅広い人材の育成を進めている。

本プログラムも5年半実施し、2年間で履修が完了する基礎・応用コースの教育プログラムは二回りした。火山学実習は順調に実施され、他大学授業や火山学セミナーの遠隔からの受講システムも大きな問題なく機能している。また、研究開発法人・国の機関でのインターンシップも毎年行われている。このように、基本的なプログラムは順調に実施され、次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト令和元年度中間評価では、本コンソーシアム構築事業の総合評価は非常に高く評価された。

これまで基礎・応用コースを修了し火山研究や監視に関する機関、地球科学や防災に関する企業、中学高等学校に就職した人数は、55名の受講生の3分の2ほどになり、火山研究や防災に関する人材として社会での活躍が期待される。平成31年度からはじまった発展コースでは、地方自治体の職員も交えた火山防災特別セミナーのほか、シンガポール国南洋理工大学EOSとの共同ワークショップなど、国際的な活動も実施された。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた。新型コロナウイルス感染症の拡大により、外国機関と連携して昨年度まで実施してきた海外研修（イタリア国ストロンボリ山のフィールド実習、アジア火山学コンソーシアムによる研修）が中止となった。しかしながら、前期のセミナーや各大学の講義は、対面授業は行えなかったが、本プログラムでは当初から遠隔授業の体制を整えていたことから、大きなトラブルもなく比較的スムーズにオンデマンド・遠隔リアルタイムの授業を提供することができた。昨年か